

パブコメ集計結果(ALOS-2,3 の研究開発)

1. 総数: 2件

2. 賛否について:

○賛成:	1件
○賛成だが施策の改善見直しの意見を含むもの:	1件
○反対:	0件
計	2件

(賛否の考え方)

- ・主旨に賛成の文意を含むものは全て賛成に判定。
- ・「賛成だが施策の改善見直しの意見のあるもの」は基本的には賛成だが、施策の実施にあたっての改善、見直し方策について記述されているものを集計。

(参考)

①賛成

- ・ 陸域観測技術衛星 ALOS(だいち)取得データの利用研究をおこなっています。継続的にデータを取得する人工衛星として ALOS-2, ALOS-3 の打ち上げ・運用を期待します。地球観測衛星のデータが直接役に立つ場面として災害監視、地図作成などが挙げられています。さらに、50 年後、100 年後において、今現在の地球表面の状態の記録として価値がでるであろうことを付け加えたいと思います。継続的な地球観測衛星の運用により、将来の日本にとって、外交や国際貢献に利用できる財産を残しておく必要があります。

②賛成だが施策の改善見直しの意見を含むもの

- ・ ALOS は豪雨時の山地崩壊や浸水域、地震時の家屋倒壊など、災害情報の把握手段として有効であるが、迅速な避難・救助を目的とするならば、よりリアルタイムな情報把握が必要である。したがって、ALOS だけでなく他の衛星搭載合成開口レーダや航空機搭載の合成開口レーダも併せて検討した方が好ましい。また、豪雨災害対応であれば、山地崩壊や浸水の予測、避難システムの構築などと連携した技術開発が不可欠である。危機管理庁などで海外を含めた新たな防災システムを構想した上で、実運用を目指した総合的な技術開発が好ましい。

③反対

- ・ なし